

中部中学校



<所在地>

〒510-0071 四日市市西浦2丁目5-36

TEL 059-353-8568

1 読書活動について

(1) 読書活動の推進について

ア 読書環境の工夫

「読書の習慣がない層」も本を選びやすいように本の配置を工夫した。毎月、図書委員や司書のおすすめ本コーナーを設置したり、本の表紙が見えるように配置するブックバイキングを実施したりして、生徒が本を手に取りやすいようにした。

イ クリスマス・ブックマーケット

昼休み、教室前で行った。「図書館に生徒が来ないなら、図書館が外向けばいい」という発想で、ワゴンや机の上に本を陳列し、その場で選んだ本の貸出手続きを行った。昼休みに図書館に行く時間が取れない生徒にも、本に触れあう機会を提供した。



(2) 家庭読書の推進

ア 長期休暇中の貸出上限を増加し、多読に挑戦することを薦めた。

イ 養護教諭等と連携して、不登校傾向の生徒へ本の貸し出しを行い、対象生徒との交流のきっかけとした。

ウ リクエスト本を生徒から募集し、蔵書を充実させた。

2 授業での学校図書館の活用

(1) 図書室オリエンテーション

毎年4月、1年生を対象に実施している。

司書の紹介や図書館の説明、中学生に読んでほしい本の紹介を行い、興味を引いた。

(2) ブックトーク

～読書感想文におすすめの本～

夏休み前、全学年で行った。司書へ依頼し、読書感想文の書き方の説明や、夏休みにおすすめの本の紹介を行った。貸出上限まで借りて、夏休みの読書に挑戦する生徒も多くいた。

3 読書後の1分間コメント等表現活動について

「テーマスピーチ『おすすめの本の紹介』」

各学年で「おすすめの本の紹介」をテーマとしたスピーチを実践した。今年度は1学期に1・3年生、3学期に2年生が行った。

【流れ】(例：3クラスの場合)

- ① 1人1冊、おすすめの本を選んで、魅力が伝わるようにスピーチ原稿を作成する。
- ② 学級内で発表し、代表3名を投票で選ぶ。
- ③ 3学級の代表9名が学年集会で発表をして、学年の代表を投票で3名選ぶ。
- ④ 代表者3名は全校集会でスピーチを行う。



4 成果と課題、今後の方向性について

おすすめコーナーやイベントをきっかけに、生徒が本を借りる姿があった。また、図書委員会でも企画を生徒自身が考え、積極的に活動できた。一方、貸出冊数の低迷と図書室利用の減少は例年に続いて課題である。電子図書館の利用も始まり、紙の図書館の魅力を発信していく必要もある。

今後、生徒一人ひとりが本との出会いを通して、様々な学びにつなげられるように、具体的な方策を考え、よりよい読書活動を目指し推進

していきたい。